

学会ニュース

1. 部会（2020年9月～2021年5月）報告
2. 第10回年次大会（2021年9月2～3日）案内

1. 部会報告

第31回東日本部会

- ・日時 2020年9月5日（土）13：30～16：45
オンライン（Zoom）
- ・テーマ・報告者等
 - (1) 改正消費者契約法と企業経営への影響
【報告者】池内博一准教授（追手門学院大学経営学部）
 - (2) 日本中小企業におけるグリーンマネジメントに関する調査：経過報告
【報告者】福川恭子教授（一橋大学大学院経営管理研究科）
 - (3) ポストコロナと「企業と社会」
【報告者】谷本寛治教授（早稲田大学商学学術院商学部）
【司会】谷本寛治教授（早稲田大学商学学術院商学部）

第32回東日本部会

- ・日時 2020年12月12日（土）13：30～16：45（JST）
オンライン（Zoom）
- ・テーマ・報告者等
 - (1) 外生的ショックとCSR活動
【報告者】吉田賢一助手（早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター）
 - (2) 中国の社会的企業とそのエコシステム－2019年の発展状況と課題
【報告者】金仁仙副教授（对外経済貿易大学政府管理学院，日中韓社会的経済研究中心主任）
 - (3) B Corp Climate Collective ASIA for Social and Environmental Impact: Global movement, local collective action
【報告者】Mr. Corey Lien (Co-Founder of DOMI, Co-Chairman & Co-Founder of Asia-Pacific B-Corp Association)
 - (4) Leading for Responsible Change: Framing Strategies among Taiwanese B Corps
【報告者】Associate Prof. Miriam Garvi (College of Management, National Taiwan University)
【司会】谷本寛治教授（早稲田大学商学学術院商学部）

JFBS International Symposium

- ・日時 2021年1月23日（土）15：00～17：30（JST）
オンライン（Zoom）
- ・テーマ・報告者等
 - (1) Sustainability and Management in the Post COVID-19 Era
【報告者】Jung Wan Lee, PhD, KOREA (Professor, School of International Economics and Trade, Anhui University of Finance and Economics, China; former Professor at Boston University)

(2) Mitigating Pandemic Risks: The Role of Ethics

【報告者】 Maxim Storchevoy, PhD, RUSSIA (Associate Professor, HSE University / Director of Russian Business Ethics Network)

(3) The Impact of COVID-19 on Commerce and Sustainability Southeast Asia

【報告者】 Daniel McFarlane, PhD, THAILAND (Director, MA in Social Innovation & Sustainability, School of Global Studies, Thammasat University)

(4) Collaboration is one of the KEYS during Pandemic

【報告者】 Juniati Gunawan, PhD, INDONESIA (Director, Trisakti Sustainability Center, Trisakti University – Jakarta, Indonesia)

(5) Think of Sustainability in the Pandemic Time

【報告者】 Niven Huang, PhD, TAIWAN (Regional Leader of KPMG Sustainability Services in Asia Pacific, KPMG Sustainability Consulting Co., Ltd.)

【Moderator】 Kanji Tanimoto, PhD, JAPAN (Professor, School of Commerce, Waseda University / President, JFBS)

JFBS シンポジウム

・日 時 2021年3月6日(土) 13:30~16:00

オンライン (Zoom)

・テーマ 日本におけるポストコロナと持続可能な「企業と社会」

・パネリスト

今津秀紀氏 (凸版印刷株式会社)

岡本大輔教授 (慶應義塾大学商学部)

黒田かをり氏 (一般財団法人CSOネットワーク)

関正雄氏 (損害保険ジャパン株式会社)

福川恭子教授 (一橋大学大学院経営管理研究科)

【司 会】 谷本寛治教授 (早稲田大学商学大学院商学部)

第33回東日本部会

・日 時 2021年5月15日(土) 13:30~16:50 (JST)

オンライン (Zoom)

・テーマ・報告者等

(1) Workforce wellbeing and CSR strategies: Perspective of managers in large Japanese companies (日本語で報告)

【報告者】 小林一紀講師 (Management, Entrepreneurship & Innovation at Massey University, New Zealand)

(2) CSR 活動と安定保有株主, 株式持ち合い

【報告者】 吉田賢一招聘研究員 (早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター)

(3) Improving sustainability management performance using Blockchain technology

【報告者】 Prof. Michele John (Director of the Sustainable Engineering Group at Curtin University, Australia)

【司 会】 福川恭子教授 (一橋大学大学院経営管理研究科)

2. 第10回年次大会（2021年9月2～3日）案内

・日 程 2021年9月2日（木）～3日（金）
オンライン（Zoom）

・主 催 企業と社会フォーラム

・本大会プログラム委員会

Valentina Carbone (Professor, ESCP, Paris, France)

Michele John (Professor, Curtin University, Australia)

谷本寛治（早稲田大学教授）

西尾チヅル（筑波大学大学院教授）

・テ ー マ 「サーキュラーエコノミーを目指して」

生産—消費—廃棄、これは伝統的な産業モデルであり、これまでのビジネスはこのモデルで行われてきました。しかしこの直線的なモデルはもはや持続可能ではなくなっています。Ellen MacArthur Foundationなどは、資源やエネルギー消費と経済成長を切り離し、実行可能で再生可能な循環型経済（サーキュラーエコノミー）を提唱しています。サーキュラーエコノミーでは、廃棄物となったものが他のバリューチェーンの資源となること、生産から消費そして廃棄に至るまでの商品ライフサイクルのすべての段階で、いま使われているものを最大限利用していこうとしています。

サーキュラーエコノミーのビジネスモデルに関する文献では、廃棄物のリサイクル戦略（循環をつくる）や商品寿命を伸ばすためのエコ開発（循環のスピードを緩める）が多く論じられてきました。また高い耐久性による消費サイクルの長期化、所有に代わって必要な時に利用することや、デジタルプラットフォームを通じた商品の再循環の支援といったシェアリングエコノミーのように、従来とは異なる方法によって循環スピードを緩めることが議論されています。

世界が直面している危機的な気候変動や資源不足、廃棄問題のもと、各国では循環型の事業イニシアティブを活性化させ、直線的なモデルを一部の戦略的なものに限定し、サーキュラーエコノミーへ移行することを促す法規制づくりが進められています。

2021年JFBS年次大会では、サーキュラーエコノミーの理論構築と実践に向けた議論を進めていきます。サーキュラーエコノミーはどのように周辺概念やパラダイム、例えばサステナビリティや産業エコロジー（産業における資源やエネルギーの流れ）、パーマカルチャー（持続可能な農業・文化）、シェアリングエコノミーに影響を及ぼすのか？ われわれは、サーキュラーエコノミーにかかわるテーマを学際的に考えるとともに、これまでのそしてこれからの議論と具体的な取り組みについて考えていきます。主に以下のようなトピックが挙げられます（但しこの限りではありません）。

1. サーキュラーエコノミーにかかわる政策と戦略。サーキュラーエコノミーへの移行はどのような規制や制度によって可能になるか？ どのような公共政策が地域レベル、国家レベル、国際レベルでサーキュラーエコノミーの発展を促すか？ 企業はどのようにサーキュラーエコノミーの概念を戦略に組み込んでいくのか？
2. サーキュラーエコノミーを促進する企業家精神。サーキュラーエコノミーの分野における企業家精神とは何か？ 彼らは地域、国家、国際的にどのようにサーキュラーエコノミーに取り組んでいるのか？
3. 新しい消費パターンとサーキュラーエコノミー。サーキュラーエコノミーの発展に向け

た消費者の行動やモチベーションについて。

4. 関連テーマとして、サステナブル・ファッション、食品ロス、プラスチック問題への取り組み、シェアリング（車、自転車、場所など）、持続可能な農業、再生可能エネルギーなどが考えられる。

多くの参加者の皆様によって、新しい議論が提起されることを期待しています。

・ 主な内容 < Keynote Speech >

- ・ R. Edward Freeman (Professor, Darden School of Business, University of Virginia, USA)
- ・ Valentina Carbone (Professor, ESCP, Paris, France)
- ・ Marjut Hannonen (Minister-Counsellor, Head, Delegation of the European Union to Japan)
- ・ Tomomi Fukumoto (Executive Officer, Division COO, Corporate Sustainability Division, Suntory Holdings)

< Plenary Session >

- ・ Marjut Hannonen (Minister-Counsellor, Head, Delegation of the European Union to Japan)
- ・ Tomomi Fukumoto (Executive Officer, Division COO, Corporate Sustainability Division, Suntory Holdings)
- ・ Izumi Sato (Lawyer)
- ・ Michele John (Professor, Faculty of Science and Technology, Curtin University, Australia)

< 企画セッション >

1. 廃プラスチック問題① 「プラスチック資源循環の課題と可能性」
2. 食品ロス問題 「プラットフォーム・ビジネスによる食品ロス問題の解決」
3. サステナブル・ファッション 「Sustainable Fashion : 3R (Recycle, Reuse, Reduce) and C (Certification) in the fashion industry」
4. 廃プラスチック問題② 「プラスチック資源循環への具体的なアプローチ」

最新の詳細プログラムは、学会ウェブサイトを参照ください。

https://j-fbs.jp/annualconf_2021.html

